

せんぼく ふるさと検定

「せんぼく発見！あしたへアクション！」

チャレンジしてみませんか？ ぜひに！

- 仙北市って、どんなところ？（再発見・新発見へ）
- 自分の知識や考えを試してみたい方…（アクションへ）
- これを機会に新たに学んでみたい方…（市外の方もぜひどうぞ）

◇2つの部門があります・・・・・・・・

○一般の部

- 30人 ■検定料2,000円 ■会場：花葉館
- R4・7月2日（土）午後・3日（日）午前（2日日程です）
⇒7月2日（土）に問題のもとになる「体験活動」を行います。〈市内散策&体験記講話〉
⇒7月3日（日）に検定テストを行います。
- 仙北市内の方はもちろん、県内、県外の方もOKです。
- ①通常コース（会場で受験）
②調べ学習コース（自宅で受験・自分で調べながら挑戦できます！）

○児童・生徒の部

- 30人 ■検定料500円 ■会場：角館交流センター
- R4・8月6日（土）12:00～
- 仙北市内の小・中学生（小4～中3）
- 詳しい案内は、6月中旬、各学校を通じて配布するパンフレットをご覧ください。

○どちらも：知識問題80点（40問）＋感想文20点（1題）＝100点

- 出題は仙北市全般についてですが、歴史・文化・伝統行事面が多めになります。
- 一般の部では仙北市HP、田沢湖角館観光協会HPの記載事項から出題します。
- 児童生徒には「ふるさと仙北学」から出題します。（各校にある学習資料です。詳細は後日案内）
- 感想文には、一緒に行う体験活動（町散策・お話し）の感想を書いていただきます。

◇5つの特色があります（この検定のめずらしいところ）・・・・・・・・

- ①受検記念に特製の「受検者章」を贈ります。世界にひとつだけ、樺細工仕様のプレート。
- ②高得点者には「ふるさとせんぼく賞！」。級や段、合否はなしです。点数へチャレンジです。
- ③「記録章（カード）」をお届けします。
 - 点数のほかに、感想文のよさをコメントします。あなたの得意分野も見つけます。
- ④感想文のお題は…当日の活動に参加して思ったことなど、自由な感想です。
 - 一般の部では「武家屋敷散策」か「門脇光浩体験記」への感想を…。
 - 児童・生徒の部では「みつひろの八郎太郎物語」を聞いて感想を…。
〈八郎瀧～田沢湖へ、みつひろ太郎は歩き切りました…体験日記…楽しいお話だよ！〉
 - 字数制限はありません。文の上手さも問いません。箇条書きもOKです！
- ⑤「検定報告集」をつくってお届けします。受検の記念にしてください。
 - 検定の色々な様子や結果について編集します。（お名前は希望に応じてカットします）
 - メインは、受検者の感想文集です。お互いに後で読み合うことになります。
 - 200部作成。市や県の機関にも送付します。あなたの思いがきくと届きます。

◇オプション企画と宿泊案内・・・・・・・・

○オプション企画：◆レセプション開催〈7/2 晩：花葉館：お食事・飲み物：5,000円〉

〈秋田県プレミアム飲食券を利用して実質負担は4,000円〉

○市外の方は宿泊＋温泉はいかがですか？（もちろん仙北市の方も…）

- 花葉館：1泊朝食付：・7,000円（2人部屋）・8,500円（S）・夕食はレセプションで（お値段は全て税込みです）

…時間と費用のかかる企画ですが、検定プラス「体験」「語り合い」の場に…

◇一般の部の申し込みと問合せ

■電話かメールで参加申込を伝えてください。問合せの方も…。

- ・担当：鈴木達朗
- ・電話：0187-53-3832（7:00～20:00）
- ・メール：suzutatu@cream.plala.or.jp
*お名前、ご住所、連絡先電話番号、受検コース（①会場 or ②自宅）を記してください。

■申込期限：令和4年6月6日（月）20:00

■申込の方へ詳細案内（要項）を郵送します。

- ・検定料の納め方を記します：期限は6月15日（水）
- ・当日の日程や移動方法など諸連絡を記します。受検者の届（用紙）も願います。
- ・宿泊やレセプションの案内と申込み、コロナ対応配慮点、も記します。

■6月15日（水）までに検定料納入と届出用紙の返信をお願いします。

- ・諸準備の都合から期限を守ってください。

◇児童・生徒の部は、6月中旬に、各学校を通してパンフレットをお渡しして案内します。
（事前問合せはどうぞ）

「市民活動あきた」のアクション

令和4年1月に一般社団法人「市民活動あきた」は動き出しました。「子どもサポート」「文化・経済活動」「健康増進・移住定住」などを掲げて様々なプロジェクト活動を考案中です。「せんぼくふるさと検定」もそのひとつです。検定では、知識理解をはかることに留まらずに、事前の学びや検定メニューを通して自分とふるさとを少し見つめ、未来の自分やふるさとにむけてアクションを起こすきっかけづくりになればと思い、いくつかアレンジしてみました。そこでのキーのひとつが「人とのかかわり合い」と考え、「問題用紙に向かう机」の場面のほかに「体験活動として散策やお話会」「検定報告集による思いの交換」「レセプション」などを取り入れてみました。ご関心をお持ちになりましたら、ご自分のチャレンジの機会に加えていただきたくご案内します。申込みをお待ちしております。時間と経費負担は…ご容赦を！

- ・一般財団法人秋田県職員互助会「令和4年度公益事業助成事業助成金」の交付を得ての実施です
- ・後援：角館温泉 花葉館（有）花田印刷